



2016年 日中韓一高層建築フォーラム

2016 China-Japan-Korea Tall Building Forum



アジアの潮流・600mを超えた超々高層

テーマ: **Innovative Motion Engineering in Tall Buildings**

日時: 2016年7月8日(金) 9:00~17:30

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス

西9号館・デジタル多目的ホール

(東急目黒線大岡山駅下車徒歩2分・右図赤枠の建物)



開催主旨

本フォーラムは、「CTBUH」(高層ビルと都市居住協議会)のアジアでの活動の一環として、中国、韓国、日本の構造エンジニア、学識経験者を中心に開催している高層建築に関する国際フォーラムです。今回のフォーラムでは、中国からは、500~600m級の超々高層建築の事例2件に加え、李国強教授(同済大学)より新開発のエネルギー吸収機構を有する制振システムについて、韓国からは、来年末完成予定の「ロッテワールドタワー」(555m・ソウル)の事例と、釜山で工事が進められている500m級の超高層RC建築に関する講演が予定されています。

日本からは、基調講演として、笠井和彦教授(東京工業大学)より、“東日本大震災”、“長周期・長時間地震動による高層建築の挙動”、“パッシブ制振”などのトピックを中心に「Performance of Seismic Protective Systems for Super-Tall Buildings and Their Contents」の講演があり、それに関連して既存超高層建築の制振改修の事例紹介が2件と、銀座のランドマークを継承し建設された「GINZA KABUKIZA」に関する講演を予定しています。

中国、韓国で活況を呈している500~600m級の超々高層建築に関する建築計画、構造設計、施工などの説明を実際の担当者から直接聞くことができる絶好の機会であり、日本では未だ実現していないこの規模の超々高層建築に興味を持つ日本国内のエンジニア、学識経験者等の方に一人でも多く参加していただけることを期待します。

プログラム (詳細は別紙「詳細プログラム」をご参照下さい)

- 9:00 - 9:30 : 受付
- 9:30 - 9:45 : 開会挨拶 (各国代表)
- 9:45 - 10:30 : 基調講演 (笠井和彦/東京工業大学教授)
- 11:00 - 12:30 : セッション1 (講演3題: 日本2、韓国1)
- 13:45 - 15:15 : セッション2 (講演3題: 中国1、韓国2)
- 15:45 - 17:15 : セッション3 (講演3題: 中国2、日本1)
- 17:15 - 17:30 : 閉会挨拶 (日本代表)

定員: 200名 使用言語: 英語

参加費: 6,000円 (学生無料)

参加登録: 事前の参加登録が必要です。
「<http://www.jssc.or.jp/>」で公開しております参加登録書にてお申込み下さい。

問合せ先: 日本鋼構造協会「日中韓-高層建築フォーラム」係
Tel/03-5919-1535
e-Mail/JCK-CTBUH-Forum2016@jssc.or.jp

主催: 日本鋼構造協会 国際委員会「CTBUH 対応WG」
共催: 東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所
後援: 建築技術支援協会、日本風工学会、日本建築学会、
日本建築構造技術者協会、日本地震工学会、
日本振動技術協会、日本鉄鋼協会、日本鉄鋼連盟
日本免震構造協会、A-Forum



China



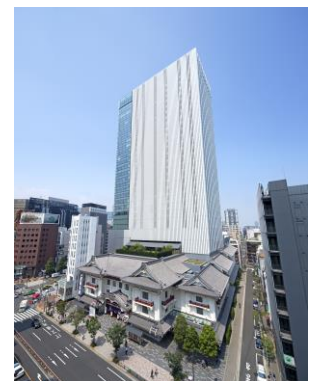
China



Korea



Korea



Japan

詳細プログラム（予定）

9:00 – 9:30	受付
9:30 – 9:45	開会挨拶（日本幹事、中国代表、韓国代表）
9:45 – 10:30	<p>【基調講演】</p> <p>「超高層建物の構造体と非構造体に求められる耐震システムの性能」 “Performance of Seismic Protective Systems for Super-Tall Buildings and Their Contents” （笠井和彦／東京工業大学建築物理研究センター教授）</p>
10:30–11:00	休憩／コーヒースタンド
11:00–12:30	<p>【セッション 1】</p> <p>「ストローク制御機能を有する既存超高層建物用大地震対応TMD」 “Development of large tuned mass damper with stroke control system for seismic upgrading of existing high-rise building” （堀 裕輔／鹿島建設）</p> <p>「変位依存型オイルダンパーを用いた既存超高層建物の長周期地震動対策」 “Seismic retrofit of high-rise building with deformation-dependent oil dampers against the long-period ground motions” （青野 英志／大成建設）</p> <p>「超高層 RC 建築の構造設計と施工（釜山ロッテタウン+海雲台リゾート）」 “Design and construction of concrete super-tall buildings (Heaundae Resort and Busan Lotte Town” （Chul Ho Park／Director, Dongyang Structural Engineers Group Co., Ltd.）</p>
12:30–13:45	昼休み／昼食
13:45–15:15	<p>【セッション 2】</p> <p>「金属系エネルギー逸散機構を有する構造せん断壁システム」 “Structural Shear Wall Systems with Metal Energy Dissipation Mechanism” （Guo-Qiang Li／Professor, Tongji University）</p> <p>「ロッテワールドタワー（123階建）のせん断伝達機構の設計」 “Shear connector design of 123 story Lotte World Tower” （Hong-Gun Park / Professor, Seoul National University）</p> <p>「ロッテワールドタワー（555m）の施工に関するコア技術」 “Core technologies for the construction of super tall building (Lotte World Tower)” （Gyu-Dong Kim／Director, Lotte Engineering & Construction）</p>
15:15–15:45	休憩／コーヒースタンド
15:45–17:15	<p>【セッション 3】</p> <p>「中国の超高層建築の構造設計事例」 “The structural design of a few super high-rise buildings in China” （Peng Liu／Director, Arup）</p> <p>「中国の超々高層建築の耐震エンジニアリングと設計の進化—革新とサステナビリティ」 “The Evolution in Seismic Engineering and Design of Ultra Tall Buildings in China – Innovations and Sustainability” （Aaron J. Wang / Director, CapitaLand China）</p> <p>「GINZA KABUKIZA の設計と施工」 “Design and construction of GINZA KABUKIZA” （川村 浩／三菱地所設計）</p>
17:15–17:30	閉会挨拶（日本代表）